

世の中には、「人生がつまひい」「自分の心にふりまねられたい」「ぼんやりと、心に抱えて

ている悩みや重苦しいその解決法や能力向上、人生や仕事を成功させるための手段を説く
 てもどきまな自己啓蒙本が出版されています。自分の心を全抱えている苦しいから解き放つ
 ための方法を求めて購入する人も少なくないかもしれませんが、悩み苦しみの原因は十人十
 色ですが、すべて自分の心から生産されています。煩惱だの心の心からは重く痛く苦
 しい思いがどんどん生産され、逆に煩惱の少ない心からは少ない。仏さまは生かして生か
 るおのを望み、仏さまと同じ境地まで導いてくださるのだからです。そのためには、おま

煩惱を取り除くべしと教えてくださっています。しかし、煩惱を消滅させた境地は仏さま
 と同じ境地ではありません。仏さまの悟りの世界を信じ、理解するのは想像できないほど
 難しい。理解できるものになるために、まずは煩惱を減らしていき、いよいよ必要だとお釈迦
 様はおっしゃられています。お釈迦様とお釈迦様より以前に存在したとされる仏さま、お
 らせて七人の仏さまが共通して説いた教えは「悪をなぞず、善を行ひ、自心の心を淨くし
 なたし」です。心がしんどい時は、まずこの教えを素行してみるのをおひきつ
 手段です。

◎左記のお経「妙法蓮華経 化城喻品第七」の中より関連した法語でした

「此諸衆生 于今有住言聞地者 我常教化阿耨多羅三藐三菩提 是諸人等 应以是法

漸入仏道 所以者何 如来智慧 難信難解

このものもの衆生、今に言聞地に住せる者有り。我れ常に阿耨多羅三藐三菩提に教化
 す。この諸人等、この法をもちて、漸く仏道に入るべし。ゆえは、いかん。如来の智慧は、

信じ難く解し難ければなり

南無妙法蓮華経 合掌

